

バイオサイエンス学科の手段

胚培養技術

不妊治療において体外受精を助ける。

動物バイオテクノロジーを用いた最先端技術が、少子化問題の一助を担う。卵子を体外で操作すると発生能が低下してしまう問題にはさまざまな原因があり、技術者のスキルも重要となる。バイオサイエンス学科は胚培養技術の向上に日々研鑽し、新しい生命の誕生を助けていく。

少子高齢化

課題

食品栄養学科の方策

栄養治療法

食の視点から医療現場の負担を軽減。

医療現場における栄養治療法は、疾病に対する基本治療のひとつである。より効果的な栄養治療法を求め、栄養素の人工消化実験を何度も繰り返し、病態に見合った食材や調理法を明らかにしていく。高齢化社会が進むいま、食品栄養学科は人々の健康寿命を伸ばす方策を追究する。

推薦
入試
(一般公募)

農学部

名古屋で
受験可能!

試験日
自由選択
12/1・2日
出願期間
11/1(木)～11/22(木)＜消印有効＞
11/24(土)のみ持参受付(東大阪キャンパス)

学 部	試験日	出願期間
法学部／経営学部／建築学部 薬学部／生物理工学部／工学部	11/17 ^土 18 ^日 試験日自由選択	11/1(木)～11/8(木)＜消印有効＞ 11/10(土)のみ持参受付(東大阪キャンパス)
経済学部／理工学部／文芸学部 総合社会学部／産業理工学部／短期大学部	12/ 1 ^土 2 ^日 試験日自由選択	11/1(木)～11/22(木)＜消印有効＞ 11/24(土)のみ持参受付(東大阪キャンパス)
医学部	12/ 2 ^日	11/1(木)～11/22(木)＜必着＞

専門力を駆使した、学びの面白さがここにある。

近畿大学 農学部

<http://www.nara.kindai.ac.jp>
〒631-8505 奈良市中町 3327-204
TEL. (0742) 43-1849